

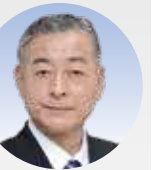
区政のここが聞きたい

第2回定例会一般質問(要旨) 6月23・24日



※本会議、常任委員会、特別委員会、議会運営委員会及び予算・決算特別委員会の録画映像を、区議会ホームページで公開しています。

新たな希望を生み出すまち・豊島



公明党
島村 高彦



●小規模事業者支援について

問 中東情勢により資材を仕入れることができず、苦しんでいる小規模事業者に対し具体的な支援を。今後の区の方針は。

答 事業者の声をしっかり聞き、課題整理を行い、補正予算を組むなど区としてやるべきことはスピード感を持って対応する。

●防災対策について

問 8年11月に防災庁が設置されるが、その設置目的は区の防災対策にどのように反映されるのか。

答 事前防災強化、救援センターの生活環境と区民の防災意識向上を目指し、体制を構築する。

●住宅確保要配慮者支援について

問 入居前の住宅確保や入居中、退去時、死亡時の各支援について今後の区の取組は。

答 居住支援バンクの充実や各居住支援団体の活動内容の広報、居住支援セミナー等の開催を通じて支援の充実を図っていく。

問 住宅要配慮者が不動産店で必要情報が入手できるようにする取組の実績は。全不動産店で具体的支援を実施しているのか。

答 現在57店舗が居住支援事業協力店として名簿登録済。入居相談窓口や助成制度を紹介するパンフレット作成やガイドブック改定なども予定している。

区民に寄り添った安全・安心で持続可能なまちづくりについて



都民ファーストの会・国民
細川 正博



●客引き行為等の防止

問 客引き・客待ち行為等の規制強化について区の考えは。

問 要配慮者支援を行う不動産事業者や家主にメリットを付与すべきと考えるが今後の方針は。

答 昨年度からセーフティネット専用住宅の家主への成約謝礼金を支払う事業を実施していたが、別途、今年度から、居住支援協議会としてしま居住支援バンク登録住宅へ入居成約時に家主と仲介事業者への報奨金を交付する事業をモデル実施予定。



身近な不動産店での情報提供を

●投票困難者支援について

問 投票困難者の増加に対する移動支援等の今後の方策は。

答 福祉部署や関係団体と連携し、投票困難者に寄り添った制度改正を国に対し要望したい。

●視覚障がい者支援について

問 国道である新庚申塚駅前の歩道への点字ブロック設置を国に求めるべき。区の考えは。

答 昨年度、点字ブロックの設置状況を確認し、不足箇所について鉄道事業者や国道、都道の管理者へ必要な是正を要請した。

制強化について区の考えは。

答 どのように規制できるか十分検討し、条例改正を確実にかつスピード感を持って行いたい。

問 客引き・客待ち行為等を防ぐ対策の実効性を高めることを求めるが、区の考えは。

答 店舗に対して、警察と連携して、より強固な対策を検討する。町会・商店会の皆様を中心にパトロールメンバーを拡充し、継続的にパトロールを展開する。

●災害対策の体制

問 台風6号への実際の対応を受けて地域防災計画の見直しの検討をすべきでは。

答 台風対応では、警報発令時に避難指示を出す判断方法、自主避難所の位置付けや開設方法、神田川流域の避難指示発令時の救援センターの選定などに課題があった。関係部署と検討して地域防災計画を修正する。

●行政サービスのデジタル化

問 利用者目線でのWEB手続きの点検及びガイドラインやチェック体制の検討について区の見解は。

答 L O G O フォームをアンケートで利用する場合を除き、申請内容を確認できる設定に統一するよう、ガイドラインを見直す。庁内研修を実施し、利用者目線に立ったサービス水準を確保できるよう努める。

●遺贈寄附という選択肢

問 民間事業者と提携して遺贈寄附の受け皿を作る取組を行っているかがか。

答 川崎市などの先行事例を研究しながら、民間事業者等と連携した遺贈寄附の受け皿づくりの実現に向けて検討を進める。

●無電柱化の更なる推進

問 新たな無電柱化推進計画の主な内容は。

答 緊急輸送道路に接続する区道を優先整備路線として選定することを計画に織り込む予定。区特有の課題解決への整備方針を示し、整備手法等を記載する。あわせて、新たな電柱設置抑制のため占有制限などの制度を紹介する。

問 都電荒川線沿線のバラの活用

答 都電沿線のバラを活かすべくと考えるが、現状の取組と今後の展開は。

答 観光協会との広報連携やイ



大塚バラまつり

優しさと強さで紡ぐ、豊島の未来



自民党豊島区議団
芳賀 竜朗



●区内事業者との契約について

問 総合評価方式の防災活動点において、参加型防災活動と団体が自ら企画する防災活動を別個に評価する仕組みが必要では。

答 今年度、総合評価競争入札推進委員会が別個に評価する仕組みを審議の上、来年度からの実施を目指す。

●街の安心安全について

問 繁華街における客引き・客待ちをしている「人」と「事業者」への現在の区の対応は。

答 「人」と「事業者」いずれに対しても、条例に基づく段階を踏んだ取締りを実施している。

問 スーツケースの不法投棄対策の検討状況は。

ンバウンド客に向けた情報発信を強化する。都電沿線の自治体と連携した広域的な回遊促進に取り組む。

●区立幼稚園のあり方

問 区立幼稚園の次年度以降の園児募集方針と募集を増やすための取組について区の見解は。

答 区立幼稚園3園は、次年度も3園全てで園児募集を行う。特別支援教育の充実、小学校との円滑な接続、地域資源を活用した体験活動などの魅力を伝える。また、預かり保育時間の拡大を検討している。

問 未就園児の実態把握及び、幼児教育情報が十分に届いていない家庭に区立・私立幼稚園の選択肢があることを積極的に伝えてはどうか。

答 広報としまやHPに加えて、5歳児健診の際に改めてアナウンスする。

答 宿泊施設やスーツケース販売店に、多言語による不法投棄禁止のチラシを配付し、周知いたたく。また、事業者によるスーツケースのリユースサービスを外国人旅行者に周知するため、調整を進める。

●未来へ進む教育施策

問 チャレンジクラス「スリジエ」の現在の成果の要因は。

答 先行自治体へのヒアリングなど開設前の丁寧な準備と、教職員への研修の実施や通常学級の生徒へのスリジエに対する理解促進の取組など学校全体で生徒を支える環境づくりが大きい。

●望まない受動喫煙防止と公衆喫煙所の整備について

機器と電力負担について

問 猛暑・物価高・電気代上昇・新たな省エネ基準が高齢者世帯・低所得世帯等の区民生活や区内事業所へ及ぼす影響は。

答 食材やエアコン価格など生活に不可欠な経費の上昇は、一般的な世帯や企業に比べ、高齢者世帯や低所得世帯、物価上昇分を利用料に転嫁しにくい事業者などに及ぼす影響は大きい。

問 東京ゼロエミポイント等を踏まえた区内の省エネ性能の高いエアコンへの更新状況について



エアコンクリーニングの補助を

て、区の認識は。
答 更新状況の全体像は把握できていないが、区民の関心は高いものと認識している。

誰もが共に育つことのできる地域社会の実現について



立憲民主
さくま 一生



●児童発達支援事業について

問 駒込のみみじ幼稚園では、幼児教育のノウハウを活かしながら児童発達支援事業を併設し、地域の子どもたちを支える意欲的な取組を行う。事業者が新たな挑戦をしやすくなるような柔軟な制度運用は可能か。

答 同幼稚園の場合も法に基づき基準の遵守が前提となるが、事業者と打ち合わせを重ね、できるだけ柔軟な対応を実現させ、新たな挑戦を応援できるよう、都と連携を図る。幼稚園は保育所と異なり、一体的支援が認め

誰一人取り残さない、やさしさあふれる豊島の街づくり



公明党
北岡 あや子



●命を守る防災対策について

問 防災協定締結後の課題認識は。協定の実効性を高めるために、既存の防災訓練への参加や実践的な訓練の充実を図るべきと考えるが、いかがか。

答 協定の中にはかなり以前に



真のインクルーシブの実現を!

られていない現状があるが、インクルーシブな子どもたちの交流の場の創出は必要。今後も国・都の動向を注視し、多様性を育む子どもたちの交流に努める。

くりにについて

問 今後の旅館業法施行条例改正後においても、従業員が常駐しない状況が続く既存の旅館業事業者に対する区の対応方針は。

答 是正されるまで指導を行い、必要に応じ立入検査を実施するなど、指導・監督を徹底する。
問 経済的に困窮している家庭の子どもたちへの夏季休業中の食の支援について、区の考えは。

答 夏休み期間中の子ども食の支援に力を入れる子ども食堂や地域の民間支援団体に積極的な支援を行っていく。

●健康・福祉の推進について

問 個別に対応してきた取組をグリーンフケアという視点で整理体系化し、誰一人取り残さない支援の強化を要望する。

答 現在、グリーンフケアに相当する相談窓口の一部を「大切な人を亡くした遺族に対する窓口」として案内している。今後は、既存の取組を整理、体系化し、より多くの人が状況に応じて支援を受けられるよう図っていく。
問 他区が実施しているような、

全世代に寄り添う区政を目指して



都民ファーストの会・国民
原田 たかき



●子供・教育施策について

問 千川中学校複合施設改築後の「学び舎びいす」活用方法を決定するスケジュールは。

答 最短で11年度から活用開始見込みのため、9年度半ばに一定の結論が必要と考える。

問 としま文化応援団事業では多彩な文化体験が予定されているが、情報にたどり着くまでのハードルが高いため、開催時期の近い助成活動から個別に情報発信する必要がある。周知に関

楽しみながら認知症予防につながるプログラムの導入検討を。

答 他区のプログラムを参考に、より多くの方に参加していただく新たな取組を検討していく。

問 高齢者の外出支援策として、区独自のシルバーパス購入費助成を導入すべき。いかがか。
答 移動支援、健康づくりへの応援策として、購入費助成の実施に向け検討を進める。



区独自の
シルバーパス購入費助成推進を

●地域における緑の適正管理について

問 一律年3回の公園の除草について、気候変動や地域特性等にに応じた管理手法が必要では。
答 各公園の実態を踏まえて、回数の見直しを検討していく。

する区の現状認識と関与方針は。



子ども・若者たちに文化芸術体験を

答 極めて重要なポイントであり、タイムリーでわかりやすい

情報発信に積極的に取り組む。

●現役世代に関する施策

問 労働報酬下限額の設定により、経験差で金額に差をつけることが難しくなる等の声がある。現場の実情への配慮は。

答 区の請負契約では、見習い・手元等を対象とした労働報酬下限額を別に設定している。

問 としま賃上げ促進支援金は産業振興施策に労務の視点を導入した点が画期的と評価するが、賃上げによる優遇措置を広げることを踏まえた、今後の労務施策の展開方針は。

答 例えば、中小企業支援金の金額や補助率の上乗せ、イベント出展条件の緩和等が考えられ、

着実な成長で次の未来へ 1



自民党豊島区議団
松下 創一郎



●災害対応について

問 6月3日の台風による神田川危険水域への到達について、区の認識と今後の対応は。

答 今回、貯水池での取水開始の上で、降雨量予想から警戒水位を超える可能性が高いと考え避難指示を発出した。今後は降雨量予想などの情報を更に精査し、避難指示等を判断する。

●都市開発について

問 池袋駅東口A・C・D地区の地区計画変更への区の期待は。建物の統一感は損なわれないか。

答 建物の更新や防災性の向上と共に、誰もが居心地の良い歩きたくなるまちの実現ができる制度だと期待する。景観計画などに基準を設けるため、一定の統一感はあるながら多種多様な建物を建築できると考える。

●家庭ごみの排出について

問 適切な時間にごみを排出さ

としま賃上げ促進支援金の効果を検証の上、導入を検討する。

●高齢者施策について

問 入浴事業のとしま・おたっしやカードの利用可能範囲を地域の実情に応じて拡大すべき。

答 公衆浴場を利用しにくい地域での区外利用については、利用状況の分析や浴場組合の意見を伺い慎重に検討を進めていく。

●地域イベント支援

問 イベント支援制度の改革とともに、国や都の補助金の案内や申請支援が必要。区の見解は。

答 条件面の良い助成制度を案内の上、助成制度の活用に向けた関係機関への問合わせや申請サポートを実施している。

せる工夫と更なる取組方法は。

答 集積所への看板設置によるルール周知のほか、ごみ分別アプリやHP、SNSを通じて周知を行っている。今後も地域の情報提供のもと、実情に応じた対策に地道に取り組む。

●外国人住民について

問 外国人の窓口手続きの困難さ、時間がかかる要因は何か。
答 外国人の海外からの転入は通常の住民登録のほか検査・手続きが必要。また国民健康保険への新規加入が多いことにより、手続きに時間がかかる。

問 手続きの窓口を分け、合計の待ち時間を短縮できないか。
答 繁忙期間に海外転入者専用窓口を設ける対応を検討する。

●スポーツについて
問 保健所跡地の前面駐車場を活用し、アーバンスポーツを披露する機会を設けてはどうか。

※長期休暇期間中の子どもへの食の支援…第2回定例会最終日に補正予算が上程され可決。長期休暇期間中に平均週3日以上食事提供を行う子ども食堂等への補助金の増額及び長期休暇期間中に学童クラブで配達弁当を利用する家庭への補助金が決定した。
※グリーンフケア…身近な人との死別や大切な存在を失った場合など、大きな喪失体験により深い悲しみを経験した人に寄り添い、立ち直りを支援すること。
※シルバーパス購入費の助成…第2回定例会最終日に補正予算が上程され可決。区独自の購入費助成が決定された。



アーバンスポーツの披露の機会を

例えば、「TOSHIMA STREET FES」と連

健康で安全・安心なまちづくりをめざして21



維新・無所属

林 一葉



●ウォーカーカブルなまちづくりについて

ウォーカーカブルなまちづくりの財源確保に向けた都市再生関連支援制度の活用検討は。

持続可能とするための財源確保は重要であることから、支援制度の活用について検討する。

東通りの無電柱化に係る都との協議状況及び実現可能性についての認識は。

早期実現は困難な状況であり、都の補助制度を活用するための協議は行っていない。



ウォーカーカブルなまちづくりを

●旅館業及び住宅宿泊事業（民泊等）について

騒音、ごみ、喫煙などの苦情が繰り返される住宅宿泊事業

動したイベントを実施するなど、地域に開かれた発信拠点となるよう活用を検討する。

●空き家について

空き家実態調査の項目は何か。その調査方法及び手順は。

空き家の戸数、老朽度、管理状況、放置の背景に加え、今後の利活用等に向けた所有者の意向を把握する。現地での外観目視調査の後、所有者へアンケート調査を行う。

者への指導監督は。

運営が改善されない不適正事業者に対しては、条例に基づく勧告や、住宅宿泊事業法に基づく業務改善命令等を行い、事業者名を公表するなど、指導監督の徹底を図る。

改正を予定している旅館業法施行条例改正の課題認識は。

従業員が常駐していない一部屋旅館の増加に伴う住環境悪化への苦情や不安の声を直接数多く伺っている実情から、まずもっての課題と捉え、改正の準備に至った。

●動物との共生について

東池袋中央公園の再整備・活用におけるドッグランを含む人と動物の共生空間、ペット共生空間の導入についての見解は。

都市計画変更の方針のもと、区民の方々と来街者の意見を広く伺いながら、公園の整備内容を検討する。

●国際化の進展と地域経済・制度運営の公平性について

課税関係や外国系決済サービス等の実態把握が難しい取引

形態への認識及び国・都への制度改善や実態把握強化の要望は。

税務調査や金融監督等の面

誰もが人間らしく安心して暮らせる豊島区政へ



日本共産党

儀武 さとる



●住宅対策について

税金が37億円も投入された区役所の向かいにある市街地再開発ビルの住まいは、1億数千万円から約3億円で発売。共働き世帯でも買うことができない。子育て世帯、高齢者などが入れる区営住宅の新規建設を。

区営住宅を改築の際、住戸数を増やすこととしている。

2025年の高齢者向け福祉住宅の登録者は20人だが、6月現在、入居は3人にとどまり、登録者のほとんどが入居できていない。福祉住宅を増設する等、区の責任で対応すべき。

福祉住宅の増設の必要性も含め、本区の住宅支援策の拡充に向け検討を進めていく。

●地域公共交通について

シルバーパスについて、高



シルバーパスの購入費助成を

で課題があると認識している。当該問題について、現時点で改めての要望は考えていない。

高齢者の外出機会を増やすことで、健康や利便性の向上を図るため、一律千円に負担軽減をすべきと考えるが、いかがか。

70歳以上の高齢者に対する個人負担軽減策の実施に向け検討を進める。

●ごみ問題について

区民へのごみ有料化の押し付けでは、ごみ問題は解決しない。区民の暮らしを守るために区長は断固反対すべき。

家庭ごみ有料化には数多くの課題がある。区民生活への影響も大きいことから、23区全体で慎重な検討を行っていく。

●巣鴨五丁目児童遊園の代替地について

新設公園整備にあたり、防災機能の強化と地元要求の反映をどのように考えているか伺う。

7月からワークショップを開始し、地元の皆様の御意見を踏まえて整備方針を策定する。

災害時の断水等にも使用可能な循環型トイレの設置を検討すべきと考えるが、いかがか。

高松地区に移動可能な循環型トイレを導入予定。実際に運用する中で他の災害用トイレと比較し有効性等を検証していく。

給食のない夏休みをどう支える？子どもの食と見守り支援の拡充を



立憲・れいわ

川瀬 さなえ



●子どもの食支援とアウトリーチ支援について

子ども家庭庁通知を踏まえた「地域こどもの生活支援強化事業」等を活用した長期休暇期間中のひとり親家庭等への支援や民間団体と連携したモデル事業を実施すべきでは。

長期休暇期間中は、子どもの食の確保や、孤独・孤立を防ぐ見守りの重要性が高まると認識している。現在、国の事業を活用し、子ども食堂等への補助上限額の追加拡充に向けた準備を進めている。また、子どもの食支援に取り組む民間支援団体

公共施設の将来ビジョンとデジタル行政の推進について



都民ファーストの会・国民

宮崎 けい子



●公共施設の有効活用と将来のビジョンについて

公共施設の暫定利用の長期化を防ぐための区の取組は。

新たなニーズへの対応や施設改築時の仮施設として有効活用するなど、検討を進めている。

●デジタル活用と業務改革について

より幅広い機能を持つ生成AI活用の検討と職員がより生成AIを活用可能にするための体制整備・人材育成の方針は。

今年度、資料作成効率化を目的に新しい生成AIを導入する。勉強会実施や、DX推進旗振り役の職員をアンバサダーに選任し、人材育成に取り組む。

区の各窓口におけるキャッシュレス決済の導入状況を全庁的に把握できているのか。

現在、区の窓口等において9つの部署、49の施設でキャッシュレス決済が利用されている。

庁内フリーアドレスに向けた整備への取組や、試行導入の

の、夏休み期間における更なる活動を支えていきたい。「待っているだけでは届かない層へのアプローチ」の展開に尽力する。



子どもの食と見守り支援を

実施結果の検証方法は。今後区が目指す職員の働き方・オフィス環境の方向性は。

職員への聴取等により業務実態を把握し、電子化、会議の見直しなど、各部署に適したオフィス環境の在り方を検討する。



生成AI活用による業務改革を

●豊島区こどもつながる定期預かり事業について

区境在住者など区外施設利用者に対する配慮ある運用と、都や国に対し制度改善要望を検討しているか。

自治体間の情報共有などの課題解決に取り組む、財政支援拡充を国や都に要望する。

※シルバーパス購入費の助成…第2回定例会最終日に補正予算が上程され可決。区独自の購入費助成が決定された。
※長期休暇期間中の子どもへの食の支援…第2回定例会最終日に補正予算が上程され可決。長期休暇期間中に平均週3日以上食事提供を行う子ども食堂等への補助金の増額及び長期休暇期間中に学童クラブで配達弁当を利用する家庭への補助金が決定した。